

令和7年

3月号
〔723号〕



広報

かねやま



目次 — CONTENTS —

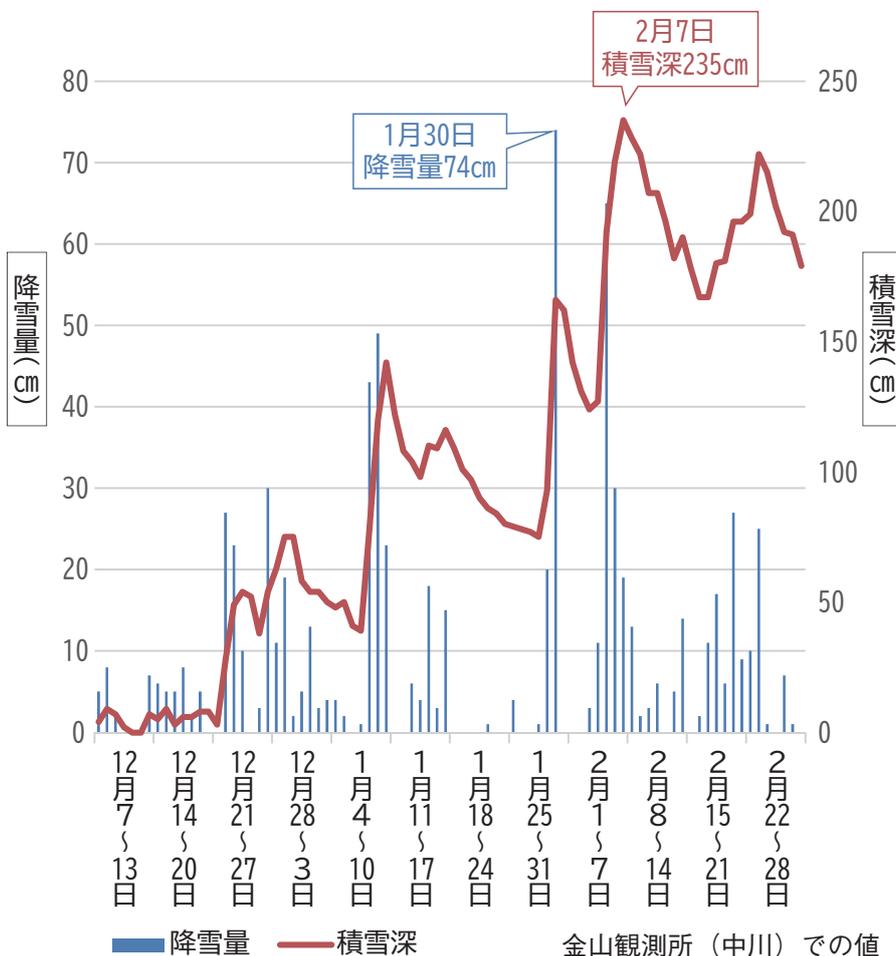
特集①～豪雪特集～	2～3
特集②～横田小学校・金山小学校 統合の歩み～	4～5
町の話	6～7
お知らせ	8～11
私の言いたいこと発表会	12

色とりどりの衣装を
身にまとい
今日は楽しいひなまつり
(川口保育所)



災害級の大雪続き 金山町で観測史上最大積雪

高根沢地区除雪の様子



超え、さらに降雪が予想されることから、金山町豪雪対策本部

**1月10日午後4時
金山町豪雪対策本部設置**

積雪量が対策本部設置基準を超え、さらに降雪が予想されることから、金山町豪雪対策本部が設置されました。そして、次のグラフのように金山町では降雪量が著しく増加し積雪が増えていきました。

強い寒気の影響で大雪が続き、金山町でも日常生活に支障をきたすほどの積雪となりました。

2月7日

観測史上最大積雪深に

2月4日から降り出した大雪により積雪量は増加し、只見線は終日運休、町民は除雪に追われる日々が続きました。

2月7日、気象台が設置している金山観測所（中川）で統計を取り始めてからは最大となる、2 m 35 cmの積雪の深さを記録し



東北電力株式会社による除雪ボランティア

ました。旧川口観測所での記録を含めて最高は3 m 12 cm（S40）で、今季の値は7番目となりました。平成3年以來34年振りの大雪となります。町が設置している太郎布観測所では8日に3 m 18 cm、田沢観測所では7日に2 m 84 cmとなり、今季最大の積雪深を記録しました。



屋根の雪おろしの様子（川口地区）

金山町に 災害救助法適用

大雪により、多くの町民の生命・身体に危害を受ける可能性があると判断され、2月7日に災害救助法が適用されました。災害救助法とは、災害後の応急期における迅速な応急救助や保護を行うための法律です。福島県の大雪による災害救助法の適用は1963年以來62年ぶりになります。

この適用により金山町では、社会福祉協議会の除排雪支援事



雪で埋もれた玄関前の除雪支援を行う町職員（玉梨地区）

業に申し込みされている方を優先的に支援し、雪で閉鎖されてしまった玄関の除雪や屋根とながってしまった部分の除雪などを行いました。

また、友好都市である埼玉県羽生市からの応援や民間事業者、町職員やボランティア団体が大勢除雪支援に来てくださいました。

連日長時間の除雪支援、本当にありがとうございました。（羽生市からの応援は6ページに詳細記載）

横田小学校・

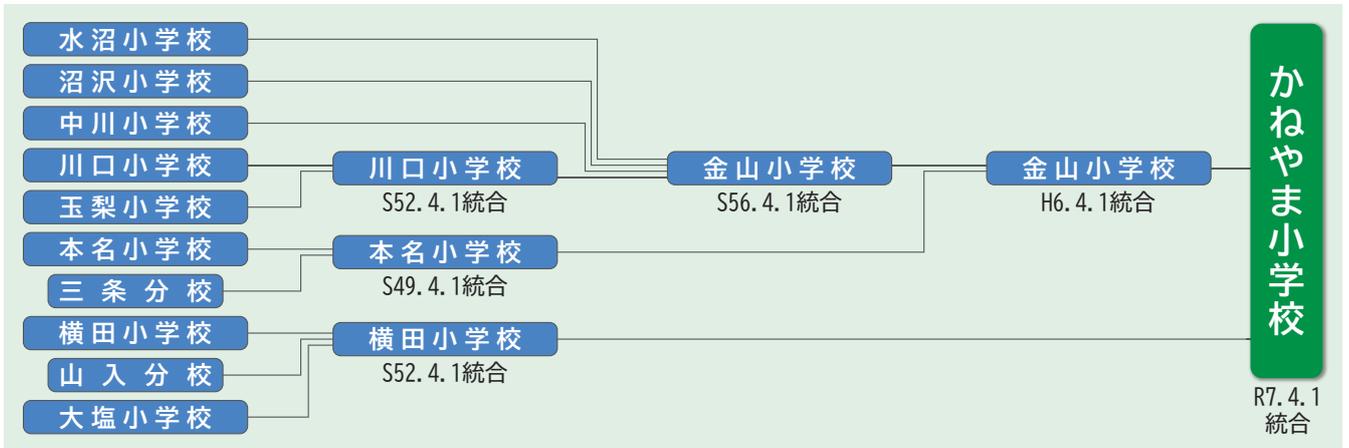
金山小学校 統合の歩み

令和7年4月1日に横田小学校と金山小学校は統合し、それぞれの歴史や想いを引き継ぎ新しく「かねやま小学校」が誕生します。今回は各小学校の統合の歴史と校長先生の想いをお伝えします。

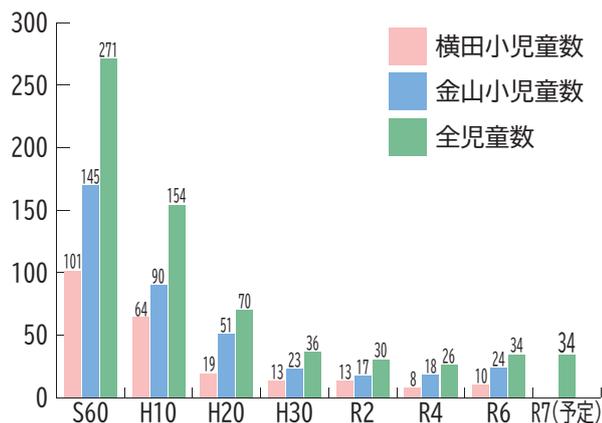


これから新しい歴史をつくっていく児童たち

●小学校統合の歩み



●児童数の推移



●広報かねやまへの掲載



(S56.3 掲載)

(S52.4 掲載)

過去の広報かねやまでも小学校統合の内容が掲載されており、当時の閉校式の様子や小学校での思い出を振り返っています。

互いの良さを 吸収し紡いで いく統合へ

横田小学校

いづか しゅういち
飯塚 秀一 校長先生



横田小学校では総合学習の一環として「横田小学校と金山小学校の良い所、共通点を見つけよう」という取組をしてきました。児童たちは「横田小学校がなくなってしまう」というマイナスなイメージがついてしまっていたのですが、この取組を通して、互いの学校の良さを次に活かし伝統を引き継いでいこうというプラスの考えに変化していったと実感しています。

また、これからは経験したことのないそれぞれの行事に取り組む機会も多くなります。自然の中での行事や地域の皆さんと触れ合う行事を体感して、それが金山町の良さとして実感でき

たら嬉しいと感じています。そして、行事などの伝統だけでなく、児童の雰囲気などの校風も、互いの良さとして吸収し合い紡いでほしいと思います。

今まで横小まつりや運動会、鼓笛パレードや米作りなど、地域の皆さんとの取組も区切りがきます。児童たちも「最後」という意識で一生懸命取り組んできましたし、一緒に作り上げて育ててくださった地域の皆さんにも感謝の気持ちでいっぱいです。今後も横田地区で取り組む活動も予定しており、金山町全体との関わりを大事にしていきたいと考えています。

新しい環境で 新しい挑戦が できる学校へ

金山小学校

やべ よしひこ
矢部 吉彦 校長先生



私は児童に対して「全力・協力・チャレンジ」の精神を大切にしてほしいとよく話しています。横田小学校と統合することで、今までできなかったことができようになったり、新しくチャレンジできる機会が増えたりするかと思えます。そのチャンスを大切に何事も全力で挑戦してほしいと思います。金小の児童は校舎自体は変わらないですが、時間が経つにつれ、金山小学校に区切りがつくことを寂しく感じているようです。ですがその気持ちを大事にしつつ、新しい学校をワクワクした気持ちで迎えようと話しています。

また、今までの歴史や上

級生から受け継いだ伝統を繋げていってほしいと思います。例えば、共に学校生活を送っていると、日常的に上級生が下級生の面倒をみている姿をよく見ます。このような関係を続けてほしいですし、教えてもらった下級生はさらに下級生に教えてあげるといふ繋がりが生まれ、その瞬間は心が温まる時間の一つです。

今まで金山小学校を見守りかわいがってくださった地域の皆さん、本当にありがとうございます。金山小学校の歴史に一区切りはつきませんが、引き続きかねやま小学校と一緒に育てていけたらと思っております。



怖い鬼をやっつけろ！

大きな声で「鬼は外、福は内」 保育所で豆まき

2月3日、川口保育所において豆まきが行われました。幼児たちは自身で作成したお面をつけ、食堂やお遊戯室で「好き嫌いうる鬼」や「うるさい鬼」などを追い払うために「鬼は外、福は内」と大きな声で豆まきを行いました。

その後実際に鬼がやってきましたが、怖がりながらも豆をまき追い払うことができました。

知恵と勇気を交換し合う場 中間支援の未来を考える フォーラム実施

2月4日、開発センターにおいて「中間支援の未来を考えるフォーラム」が開催され、岡山県西粟倉村^{にしあわくらそん}、熊本県南小国町^{みなみおくにまち}、金山町それぞれの地域で活躍している講師による事例紹介が行われました。フォーラムには約30名が参加し、地域での事業展開や地域課題の改善に向けた意見交換が活発に行われました。



和やかに意見交換が行われました



玄関先を除雪する羽生市職員

友好都市 埼玉県羽生市から 除雪応援

2月13日・14日、町内各地において友好都市である羽生市の市役所職員6名による除雪支援が行われました。高齢者のみの世帯など、自分では除雪が困難な住宅を対象に除雪をしていただきました。支援を受けた町民は、除雪された玄関先や軒先を見て安堵の表情を浮かべていました。

羽生市職員の皆さん、連日長時間の除雪支援、本当にありがとうございました。



参加者で記念撮影

「あいせき列車只見線」 最終章が完成

2月22日、開発センターにおいてあいせき列車只見線先行上映会が行われ、第3弾が完成した記念に三部作すべてが上映されました。上映会終了後には大竹涼華さんによる主題歌と挿入歌の演奏が行われました。

その後は、井草葉子監督（大志）らによるトークショーが行われ、撮影秘話や作品への想いが語られました。

人権作文コンテストへの 継続的な取り組みが評価され

2月27日、法務省及び全国人権擁護委員連合会主催の全国中学生人権作文コンテストへの積極的かつ継続的な取り組みが評価され、法務省人権擁護局長と全国人権擁護委員連合会会長の連名から金山中学校へ感謝状が贈られました。金山中学校では毎年ほとんどの生徒が人権作文に取り組んでおり、武藤校長先生は「人権について考える良い機会となっている」と話しました。会津地区では2校のみに贈られた貴重な感謝状になります。



左から金山中学校長と福島地方務局若松支局長



卒業証書を受け取る小川悠介さん（横田）

青春の日々を胸に新たな道へ 川口高校卒業証書授与式

3月1日、川口高校において第73回卒業証書授与式が挙行され、15名の生徒が卒業しました。卒業生代表の若林佳楠さん（川口）は先生方や下級生、家族への想いを述べ、最後は同級生に向けて「この3年間は私たちにしか作れない青春そのもので、絶対に消えることのない思い出です。皆が同級生で本当に良かったと心の底から思います」と答辞を述べました。

令和7年度の後期高齢者医療保険料率について

令和7年度の後期高齢者医療保険をお知らせします。

	令和6年度の保険料率		令和7年度の保険料率
均等割額	年額 45,900円		年額 45,900円
所得割率	賦課のもととなる所得（※）58万円超	8.98%	8.98%
	賦課のもととなる所得（※）58万円以下	8.64%	
賦課限度額	令和5年度末有資格者	73万円	80万円
	令和6年度資格所得者	80万円	

※ 前年の総所得額、山林所得金額、他の所得と区分して計算される所得金額の合計から、基礎控除額（最大43万円）を控除した金額です。（ただし、雑損失の繰越控除額は控除されません。）

同一世帯内の被保険者及び世帯主の総所得金額等の合計額が基準額以下の場合、下記のとおり均等割額は軽減されます。

軽減割合	均等割額の軽減措置の所得判定基準	軽減後の均等割額
7割	基礎控除（43万円）+10万円×（年金・給与所得者等の数-1）以下	13,770円
5割	基礎控除（43万円）+（30.5万円×被保険者数）+10万円×（年金・給与所得者等の数-1）以下	22,950円
2割	基礎控除（43万円）+（56万円×被保険者数）+10万円×（年金・給与所得者等の数-1）以下	36,720円

◎問い合わせ…保険料に関すること 住民係 ☎54-5121
資格に関すること 保健係 ☎54-5135

「健康保険」切り替えの届出をお忘れなく

健康保険の切り替えには届出が必要です。

《届出に必要なもの》

- 国民健康保険被保険者証または資格確認書
→会社の社会保険に加入した方はご返還いただきます
- 健康保険資格取得（喪失）証明書
→勤め先より発行してもらってください

国保に入るとき

- ほかの健康保険をやめたとき
- 家族が扶養でなくなったとき



国保をやめるとき

- ほかの健康保険に加入したとき
- 家族を扶養に入れたとき



14日以内に保健福祉課または横田出張所に届出をお願いします。

◎問い合わせ…保健係 ☎54-5135

INFORMATION お知らせ

表彰

交通事故死者ゼロ 2500日達成

3月4日、町長公室において金山町交通事故死者ゼロ2500日表彰式が行われました。町では、平成30年4月29日以来、交通事故死者が発生しておらず、令和7年3月4日をもって交通事故死者ゼロ2500日を達成しました。



交通事故死者ゼロのさらなる継続を誓いました

式では、本田伸雄会津地方振興局長から町長に表彰状が手渡されました。町長は「町民に交通安全を呼びかけ次は3000日を目標に取組を強化していきたい」と述べました。

保健福祉

国民健康保険加入者の方へ ジェネリック医薬品差額 通知についてのお知らせ

ジェネリック医薬品とは？

これまで使われてきた「新薬」の特許期間終了後に製造販売される、新薬と同じ成分や効果を持つ医薬品のことです。

新薬と同様の効き目を持ちますが開発費があまりかからないため、お薬代の自己負担額が軽減されます。

新薬と同様に薬事法にもとづいて国の承認を受けています。

※すべての新薬に対しジェネリック医薬品があるわけではありません。

ジェネリック医薬品差額通知とは？

厚生労働省からのお知らせ

ハンセン病元患者のご家族へ

～対象となる方々に「補償金」を支給します。秘密は守られます。～

- 秘密は守られますので、まずは、お電話でご相談ください。不安なお気持ちやご質問にも丁寧に答えます。
- この補償金は、国が、誤った隔離政策により、元患者のご家族の皆様にも多大の苦痛と困難を強いてきたことを心からお詫びし、その精神的苦痛を慰謝するためのものです。

対象者	(ア) 配偶者（事実婚も含む） (イ) 親、子 (ウ) 親・子の配偶者及び配偶者の親・子等	補償金額 180万円
	(エ) 兄弟姉妹 (オ) 祖父母・孫 (カ) 祖父母・兄弟姉妹・孫の配偶者及び配偶者の祖父母・兄弟姉妹・孫等 (キ) 曾祖父母、ひ孫、おじ、おば、おい、めい	補償金額 130万円

※ 同居など一定の要件が必要な場合があります。

厚生労働省 補償金相談窓口
電話番号 03-3595-2262
受付時間 10:00~16:00 (月曜日から金曜日。土日祝日、年末年始を除く。)
請求期限は、令和11年(2029年)11月21日まで

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare
ハンセン病問題を正しく理解し、偏見や差別のない社会の実現を目指しましょう。
ハンセン病 厚労省

現在服用されている新薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、お薬代の自己負担額が一定額以上軽減されると見込まれる被保険者の方を対象にお送りする、自己負担額がいくら安くなるかをお知らせするものです。町では、年に4回差額通知の送付を実施しています。(6月、9月、12月、3月頃)

ジェネリック医薬品を希望するには？

国保加入時に「ジェネリック

医薬品希望シール」を配布しています。このシールを診察券やお薬手帳の余白部分に貼付のうえ、医師や薬剤師にご提示・ご相談ください。ジェネリック医薬品希望シールが必要な方は、保健係までお問い合わせください。

※医師の判断によりジェネリック医薬品が処方されない場合があります。

◎問い合わせ：保健係

54-5135

納税

令和6年分確定申告の納期限と振替日のお知らせ

令和6年分の確定申告期限と納期限は次のとおりです。

▼申告所得税および復興特別所得税・贈与税
3月17日(月)

▼消費税および地方消費税
3月31日(月)

納税には、便利で確実な振替納税をご利用ください。一度手続きしていただければ、継続して利用できます。

令和6年分確定申告分の振替日は次のとおりです。

▼申告所得税および復興特別所得税
4月23日(水)

▼消費税および地方消費税
4月30日(水)

振替納税は、預貯金残高を確認しておくだけで金融機関の預貯金口座から自動的に納税ができる大変便利な制度です。簡単な手続きで利用できますので、会津若松税務署にご相談ください。

い。

なお、既に申告所得税および復興特別所得税または消費税および地方消費税について振替納税をご利用の方は、確実に振替納付ができるよう、事前に預貯金残高をご確認ください。

◎問い合わせ：
会津若松税務署

☎0242-27-4311

その他

地域おこし協力隊活動報告会について

地域おこし協力隊は、都市地域等から地方に移住して、地方自治体からの委嘱内容に応じ、地域力の強化のため、地域の実情に応じた活動を行う取組みです。金山町では、現在2名の隊員が活動を行っています。

一方で、地域への定住・定着を図る取組みでもあることから、町民の皆さまにも活動内容を知っていただきたく、活動状況の報告会を開催しますので、ぜひお気軽にお問い合わせください。

▼開催日時 3月19日(水)
午後6時～

▼場所

開発センター3階大会議室

◎問い合わせ：企画係
☎54-5203

会津坂下警察署からのお知らせ

突然訪問する悪質買取業者に注意してください。

▼被害に遭わないために

- ・突然訪問してきた業者を家に入れない
- ・買い取ってもらうつもりがない場合はきっぱり断る
- ・業者名、住所、電話番号を確認し、許可書等を提示させる
- ・複数人に対応し、貴金属から目を離さない
- ・買取条件などの書面を作成させ、控えを受領する
- ・業者がしつこく勧誘してくる、契約を断っても帰らない場合はすぐ110番通報もしくは最寄りの警察署に通報

◎問い合わせ：

会津坂下警察署生活安全係

☎0242-83-3451

これからの予定

★3月★

▼19日(水)

- ・運転免許更新
午前9時30分～
第3学期終業式
開発センター
川口高校

▼21日(金)

- ・修・卒業証書授与式
閉校式
修了式
小学校
小学校
金山中学校

▼26日(水)

- ・修了おいわいの会
保育所

▼28日(金)

- ・離任式
小・中・高

★4月★

▼3日(木)

- ・入所おめでとうの会
保育所

▼7日(月)

- ・開校式
入學式・第1学期始業式
かねやま小学校
小・中

▼8日(火)

- ・入學式・第1学期始業式
川口高校

▼13日(日)

- ・金山町消防団幹部大会
午前10時～
開発センター

今月の納税

●水道使用料 3月分

納期限は

3月31日

納め忘れにご注意ください

あの人この人

2月届出（敬称略）

『広報かねやま』への記載に同意して
いただいた方のみ掲載しております。

霊よ安らかに

中丸市良（87歳）越川

諏江仁補（77歳）小栗山

押部健也（47歳）八町

金山町の人口（3月3日現在）

世帯数 978世帯（-3）

人口 1,713人（-7）

男 846人（-6）

女 867人（-1）

※（ ）内は先月比 住民基本台帳から

奥会津在宅医療センター 移転のお知らせ

これまで三島町移住体験住宅を拠点として活動してまいりました「奥会津在宅医療センター」が、在宅医療と病院機能の連携強化を目的として、令和7年3月17日（月）より、宮下病院内に移転いたします。電話番号は、宮下病院と同じ「0241-5212321」となります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

◎問い合わせ…県立宮下病院
☎5212321

ご寄付に感謝

ふるさと応援寄付金

1月16日～2月15日集計

●寄付件数 16件

●寄付金額 三十五万円

ご寄付は地域の活性化事業や自然環境の保全事業などに活用させていただきます。



自家消費用食品等の放射性物質簡易測定の結果について

複数の検体を測定している場合は最低値と最高値を表示しています。

（測定年月日 令和7年2月1日～令和7年2月28日）

※「ND」は、10ベクレル/kg未満です。（単位：ベクレル/kg）

品名	測定件数	未検出数	セシウム
			(134+137合計値)
地下水	3	1	10.4～11.8
焼却灰	1	0	195.3

※厚生労働省が定める一般食品の放射性セシウムの基準値は100ベクレル/kgです。

町では自家消費用の食品等について放射線測定を役場で行っています。

◎問い合わせ…

保健係 ☎54-5135

（自家消費用食品について）

林業係 ☎54-5322

（販売用食品について）

第41回私の言いたいこと発表会 開催



2月16日、ゆうゆう館において「第41回私の言いたいこと発表会」が開催されました。町内の小学生から高校生までの12名が、これまでの経験で学んだことや未来に向けての希望を発表しました。なお、発表内容をとりまとめた文集は、4月頃区長文書で回覧する予定です。

今回の私の言いたいこと発表会では、学校生活を過ごす中で学んだことや頑張っていること、実生活での何気ない体験で感じたこと、趣味・興味のあることや自身の将来、町の将来など、多様なテーマについて発表されました。

横田小学校飯塚校長先生は「子どもたちが自分の思っていることを自由に話すことができ、それを自由に話すことができ、その良い機会であり、また、町民の皆さんは若い世代の意見を聞くことができる貴重な機会です。その意見に大切に寄り添ってきたいです。そして、自分の想いを大切にこれからも過ごしてほしいです。」と総評で述べました。

発表者・タイトル一覧

(前列右から)

滝沢 息輝さん (横田)

『横田小学校を忘れない』

馬場 真心さん (越川)

『希望をもってかねやま小学校へ』

長澤 葵さん (小栗山)

『本との出会いで変わった生活』

長谷川 拓斗さん (橋立)

『剣道で学んだこと』

若林 志帆さん (西谷)

『思い出の記録会』

五十嵐 玲奈さん (上横田)

『グローバル社会について』

大面 梓未さん (横田)

『音楽との付き合い方について』

川野 道馬さん (横田)

『知っていること』

(後列4人目右から)

武満 琴未さん (上横田)

『感謝と謝罪の気持ち』

月岡 卓斗さん (新潟県)

『マクドナルドに行きたい』

上遠野 信也さん (埴町)

『変わることへの戸惑いと意味』

七田 琉太さん (埼玉県)

『ボート部の疲労がやばい』